

<別紙> 情報提供様式

事例名	
スクール・サポート・スタッフに明確な役割を分担することで、教師が本来業務に集中できた！	
学校名	
草津市立高穂中学校	連絡先 077-565-3611
取組分野(複数選択可)	
☒ 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例	
直面していた課題(取組前の様子)	
・生徒数が多いため、部活動等における会計処理において、出入金の頻度が高い、扱う金額が大きいなど、煩雑になることがあった。会計担当者は、担任をしている教諭が多く、学年会計担当との兼務など複数の会計を担当していることもあった。	
在校等時間の縮減に向けた具体的取組内容	参考となる写真や資料を添付
・スクール・サポート・スタッフを2名配置し、学校事務職員の指導のもと、会計処理補助を中心に担うこととした。部活動等の会計管理は、スクール・サポート・スタッフが担当することとした。 <u>取組のポイント</u> ・スクール・サポート・スタッフは会計処理の経験がある人を選考した。また、学校規模に合わせて2名配置した。会計処理の他にも学校の掲示物作成や、印刷、通知表の封筒作成、ホームページ作成の補助等を担っている。	教員業務支援員との協働の手引き (令和5年12月 文部科学省) 
取組の成果	
・教員が授業の準備をしたり、生徒に関わったりする時間が増えた。学校授業中は教師に時間的ゆとりが持てるようになったことで、教科担当者で情報共有ができ、ICT 機器の活用が進んだ。また、総合学習の地域連携のための準備の時間を捻出できたりするなどの成果が見られた。 <u>成果のポイント</u> ・退勤時間が早まるという成果まではいかないが、学校授業中の教師の連携体制や準備のための相談ができるゆとりが生まれつつある。	